

…… 予算の概要 介護保険（介護勘定） ……

■収入

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護保険収入	289,318	115,358
繰入金	—	—
雑収入	9	3
合計	289,327	115,362

■支出

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介護納付金	257,611	102,716
介護保険料還付金	100	40
雑支出	11	4
予備費	31,605	12,602
合計	289,327	115,362



第149回組合会
その他特記事項

●任意継続被保険者の平均標準報酬月額の特

任意継続被保険者に対する平均報酬月額：560,000円（平成29年9月30日現在の全被保険者の平均標準月額：571,904円）

健康保険料は560,000円に当健保組合の保険料率84/1000をかけた47,040円となります。

●機関誌自宅送付廃止の特

30年度4月より年2回の機関誌自宅宛配布を取りやめ、予算、決算その他の情報は「けんぽだより」として従来通り、ホームページに掲載いたします。

●医療費通知のWeb化予定の特

現在、月1回紙配布している医療費通知を医療費控除確定申告にも対応させる形式にしてWEB化することを予定しています（30年6月開始予定）。

●理事長専決事項 報告・承認の特

…… 予算の概要 健康保険（一般勘定） ……

■収入

科目	予算額(千円)
健康保険収入	2,650,605
保険料	2,650,007
国庫負担金収入	597
その他	1
調整保険料収入	46,897
繰入金	137,978
国庫補助金収入	2,051
財政調整事業交付金	10,000
雑収入	11,237
合計	2,858,768
経常収入合計(A)	2,662,888

■支出

科目	予算額(千円)
事務費	68,702
保険給付費	1,162,777
法定給付費	1,101,890
付加給付費	60,887
納付金	1,408,138
前期高齢者納付金	719,381
後期高齢者支援金	673,932
病床転換支援金	3
日雇拋出金	808
退職者給付拋出金	14,014
保健事業費	117,432
財政調整事業拋出金	46,897
連合会費	983
積立金	2,487
予備費	50,000
還付金・その他	1,352
合計	2,858,768
経常支出合計(B)	2,760,870

経常収入支出差引額(A)-(B) ▲97,982千円

※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合があります。

30年度は8月より介護納付金に2分の1総報酬割が導入されるため、介護納付金を29年度予算比42.2万円（1.7%）増の2億5,761万円を計上しています。介護納付金が増加見込みのため30年度の介護保険料率は29年度より千分の3引き上げ、1000分の14とします。介護保険料の負担割合は、事業主と被保険者の折半（1000分の7ずつ）です。介護納付金は31年度、32年度もさらに増大することが見込まれ、財政状況は今後も厳しいものとなると予想されます。

●介護保険（介護勘定）

介護納付金は前年度比で1.7%増

的に繰り入れつつ、別途積立金が法定準備金の6倍を下回る見込みとなった場合に、再度料率の見直しを計画的に行う予定です。

平成30年度予算のお知らせ

健康保険料率を前年より千分の3引き上げ、千分の84としての予算編成

健康づくりによる医療費の抑制に今後ともご協力ください

当健保組合の平成30年度予算が、2月21日に開催された第149回組合会において可決・承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

●健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が公表した平成28年度決算見込によると、28年度の全健保組合の経常収支は2,373億円の赤字となっています。これは多くの健保組合が保険料率を引き上げたことや、短時間労働者への適用拡大による保険料収入の増加、診療報酬のマイナスイ改革などによって支出の伸びが鈍化したことなどによるものです。現在、健保組合の平均保険料率は千分の91.1となっていますが、健保組合の38.8%は赤字決算となっており、依然として健康保険組合を取り巻く状況は厳しいことと変わりはありません。

そのような中、30年度の当健保組合は前年より健康保険料率を千分の3引き上げ、千分の84としての予算編成となりました。料率を引き上げてもなお、高齢者医療への納付金増大が見込まれることから、経常収支で約9,800万円の赤字予算となりました。とくに支出面で前期高齢者納付金が29年度比で約1億8,000万円増となっており、健保財政は依然として厳しいものとなっています。

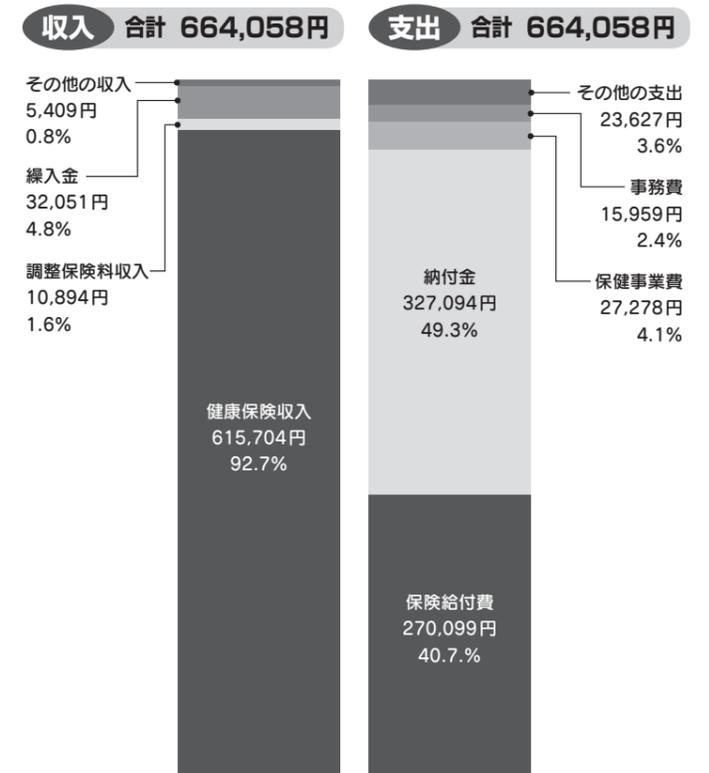
当健保組合は、本年度も引き続き医療費抑制に向けた事業の推進など財政健全化施策を実施してまいります。皆様方におかれましても、当健保組合が行っている各種健診事業等を積極的に利用され、健康の維持増進に努めてください。また、ご協力をお願いいたします。

また、平成30年度は「データヘルス事業」の2期目が始まる年であり、29年度に引き続き、データ分析に基づく効果的な保健事業の計画を展開してまいります。

●健康保険（一般勘定）

収入の大部分を占める保険料は、前年度予算より453万円増の26億5,001万円を見込みました。支出は皆様やご家族の医療費に使われる保険給付費が11億6,278万円、高齢者医療への納付金は14億814万円を見込みました。30年度の納付金は29年度予算に比べ1億4,399万円の大幅増となっており、納付金の保険料収入に占める割合は53.1%となっています。また、皆様の健康を守るための保健事業費には1億1,743万円を計上しました。以上のことより、単年度の実質的な財政状況である経常収支では、9,798万円の赤字を見込んでいます。今後3年は、大幅かつ急激な料率引き上げを回避すべく、別途積立金を計画

◆被保険者1人当たりの収支の割合【健康保険（一般勘定）】



※四捨五入の端数処理のため、各科目の合計が収入・支出合計等と一致しない場合や、各科目の合計が100%にならない場合があります。

<予算の基礎数値>

- ・被保険者 4,305人
- ・平均標準報酬月額 581,809円
- ・総標準賞与額（年間合計） 2,680,920千円
- ・被保険者の平均年齢 43.41歳
- ・健康保険料率（調整保険料含む） 84.00/1,000（事業主55.93/1,000 被保険者28.07/1,000）
- ・介護保険料率 14.0/1,000（事業主7.0/1,000 被保険者7.0/1,000）